USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

SP820

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

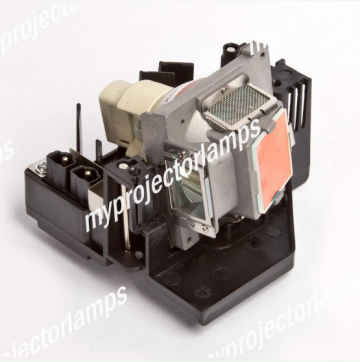
www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのBenQ SP820の交換用ランプは、現在入手可能です。



BenQ SP820プロジェクターランプ

部品番号：CS.5J0DJ.001
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Benq/SP820.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

著作権

本出版物は、一切の写真、図、ソフトウェアを含め、国際著作権法により保護されており、無断複写・転載を禁じます。本マニュアルまたはここに含まれる一切の資料は、著者の書面による許諾なしに複製することを禁じます。

© 著作権 2007 年 7 月

免責

本文書の情報は別途通知なく変更されることがあります。メーカーはここにおける内容に関していかなる表明も保証もせず、かつ特定の目的に対する商品性または適合性の黙示保証も一切拒否します。メーカーは随時本出版物の内容を改訂及び変更する権利を有し、いかなる人物にもそのような改訂または変更について通知する義務を負いません。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の登録済みの米国登録商標であり、その他世界の国々で出願中の商標です。

本マニュアルにおいて使用されるその他一切の製品名は、それぞれの所有者の所有物であり、承認を得ています。

重要な安全に関する情報

DLP プロジェクタをお買い上げいただき、ありがとうございます。

> ***重要：***
> *プロジェクタをお使いになる前に、本セクションを熟読されることを強くお勧めします。これらの安全および使用上の指示は、本プロジェクタを長期間にわたり安全に使用し、お楽しみいただくためのものです。将来参照できるよう、本マニュアルを保管してください。*

使用されているマーク

警告マークはユニット上および本マニュアルにおいて危険な状況に注意を促すために使用されています。

本マニュアルでは重要情報に注意を促すため、次の次のスタイルが使用されています。

> ***メモ：***
> *そのトピックに関連する追加情報を提供します。*

> ***重要：***
> *看過すべきでない追加情報を提供します。*

> ***注意：***
> *ユニットに損傷を与える可能性のある状況について注意を促します。*

> ***警告：***
> *ユニットに損傷を与えたり、危険な環境を形成したり、人身傷害の原因となったりする可能性がある状況について注意を促します。*

本マニュアルでは、構成部材および OSD メニューの項目が次の例に示すように太字で示されています：
「リモートコントロールの**メニュー**ボタンを押して**メイン**メニューを開きます。」

リモートコントロール

一部のリモートコントロールは画面上の項目を指し示すためのレーザーを備えています。
危険：レーザーを目に当てないでください。目に回復不能な傷害を与える危険があります。

一般安全情報

- ユニットのケースを開かないでください。このユニットには、投写用ランプを除き、ユーザによるメンテナンスが必要な部品はありません。修理が必要な場合は、資格のある技術者にご連絡ください。
- 本マニュアルおよびユニットのケース上に示されたすべての警告および注意に従ってください。
- 投写用ランプは非常に明るく設計されています。目に傷害を与えないため、ランプがオンのときレンズを見ないようにしてください。
- ユニットを不安定な表面やカート、スタンド上に置かないでください。
- 水や直射日光、加熱装置の近くでシステムを使用しないでください。
- 本やかばんなど重いものをユニットの上に置かないでください。

電源の安全性

- 付属の電源コードのみを使用してください。
- 電源コード上にものを置かないでください。人の通り道とならないところに電源コードを配置してください。
- 収納するとき、または長期間使用しないときはリモートコントロールの電池を取り外してください。

ランプの交換

不正確なランプの交換は危険です。この手順に関する明確で安全な指示は、 投写用ランプの交換（29ページ）を参照してください。ランプに交換を行なう前に：

- 電源コードを抜いてください。
- 約一時間放置してランプを冷却させてください。

プロジェクタのお手入れ

- お手入れを行なう前に電源コードを抜いてください。プロジェクタのお手入れ（32ページ）を参照してください。
- 約一時間放置してランプを冷却させてください。

規制に関する警告

プロジェクタの設置と使用の前に、規制準拠性セクションの規制に関する警告（42ページ）をお読みください。

主要な特長

軽量で持ち運びに便利

NTSC、PAL、SECAM を含む主要なあらゆるビデオ規格との互換性

高輝度で昼光や照明をつけた室内でも表示可能

16.7 百万色 SXGA までの解像度をサポート、明瞭でクリアな画像を表示

フレキシブルなセットアップでフロントおよびリア投影が可能

斜め投影用の先進的キーストーン補正で、視線に合わせて投影の四角さを維持

入力ソース自動検出

本マニュアルについて

本マニュアルはエンドユーザ向けに DLP プロジェクタのインストールと操作について説明します。図やその説明などの関連情報はできる限り 1 ページに記載されています。このプリンタ向けの形式は、ユーザに便利であると共に紙の使用を節約できるので環境保護に役立ちます。ニーズに応じて必要なセクションのみ印刷することをお勧めします。

本マニュアルに記載されているデフォルト値は、特に OSD メニューのデフォルト値は、参考のみを目的としており、事前の通知なく随時更新または変更されることがあります。

目次

はじめに 1

同梱品チェックリスト 1
プロジェクタ各部の外観図 2
右前面図 2
上面図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンとLED 3
背面図 4
底面図 5
リモートコントロール各部 6
リモートコントロール操作範囲 8
プロジェクタおよびリモートコントロールのボタン 8

セットアップおよび操作 9

リモートコントロールの電池の挿入 9
入力デバイスの接続 10
プロジェクタの起動と終了 11
アクセスパスワード（セキュリティーロック）の設定 12
プロジェクタ水平度の調整 13
ズーム、フォーカス、キーストーンの調整 14
ボリュームの調整 14

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー設定 15

OSDメニューコントロール 15
OSDのナビゲーション 15
OSD言語の設定 16
OSDメニューの概要 17
メイン メニュー 18
接続されたソースで利用可能なメインメニュー機能 19
設定 1 メニュー 20
接続されたソースで利用可能なセットアップメニュー機能 20
詳細セットアップ 21
ユーザー色 23
設定 2 メニュー 24
ユーティリティ メニュー 25
接続されたソースで利用可能なユーティリティメニュー機能 26
ツールメニュー 27
状態メニュー 28

メンテナンスおよびセキュリティー 29

投写用ランプの交換 29
ランプのリセット 32
プロジェクタのお手入れ 32
レンズのお手入れ 33
ケースのお手入れ 33
KENSINGTON®ロックの使用 33

トラブルシューティング 34

よくある問題と解決方法 34
トラブルシューティングのヒント 34
LEDエラーメッセージ 35
画像の問題 35
ランプの問題 36

リモートコントロールの問題 36
音声の問題 37
プロジェクタの修理を依頼する 37

仕様 38

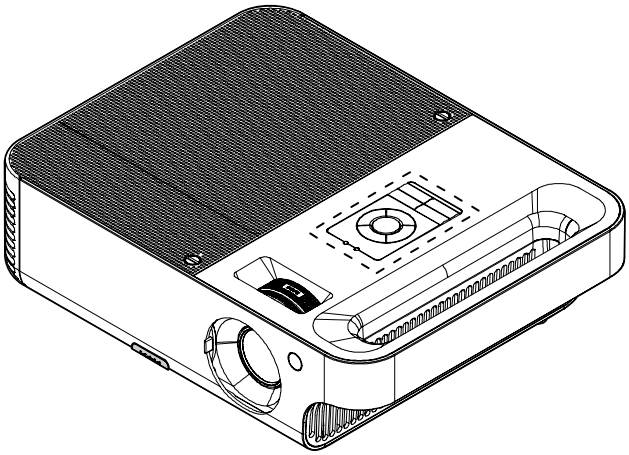
仕様 38
投写距離 対 投写サイズ 39
投写距離およびサイズ一覧表（0.7 インチ） 39
タイミングモード表 40
プロジェクタ寸法 41

規制準拠性 42

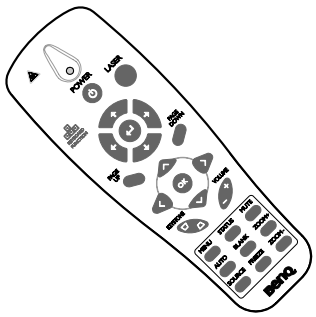
FCC勧告 42
カナダ 42
EN 55022 勧告 42
安全認証 42

同梱品チェックリスト

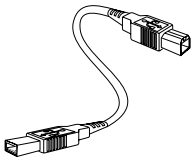
プロジェクタを注意して開梱し、次のアイテムが含まれているか確認してください：



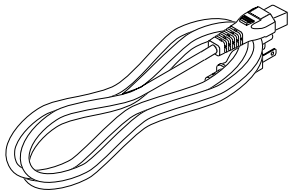
DLP プロジェクタ



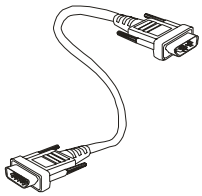
リモートコントロール
(単 4 電池 2 本付)



USB ケーブル



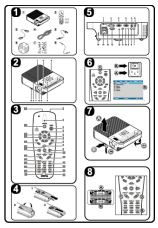
電源コード



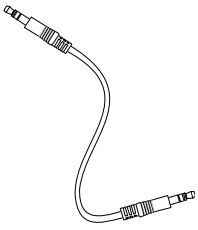
コンピュータケーブル
(VGA-VGA)



CD-ROM
(本ユーザーズマニュアル)



クイックスタートガイド



オーディオケーブル
(ステレオミニジャック-ミニジャック、黒いワイヤと緑色のコネクタを備えた 2M のケーブル)

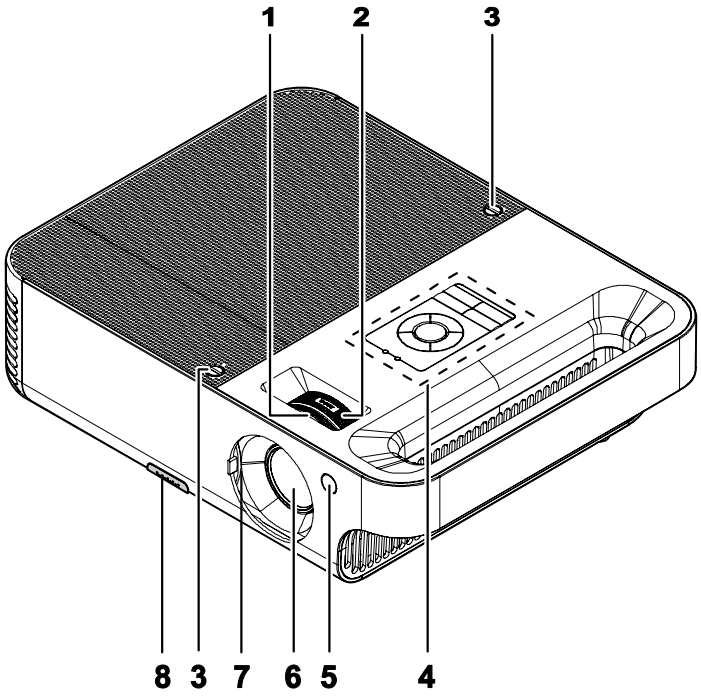
アイテムの不足や破損がある場合、またはユニットが正常に動作しない場合は、すぐにお買い上げ店にご連絡ください。

注意：
ほこりの多い場所でプロジェクタを使用しないでください。

メモ：
保証サービスを利用する場合に備え、元の梱包材を保管しておくことをお勧めします。

プロジェクタ各部の外観図

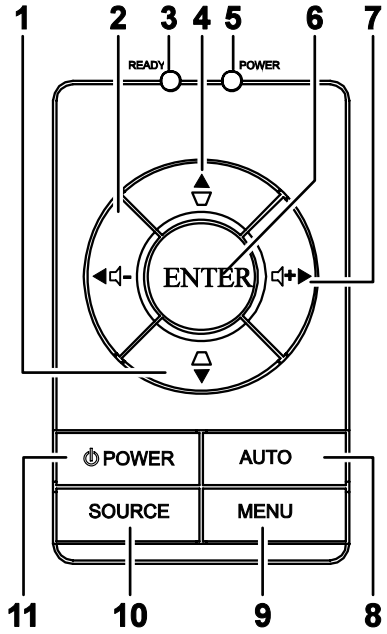
右前面図



項目	名称	説明	参照ページ：
1.	フォーカス	投影される画像の焦点を合わせます	***14***
2.	レンズズーム	投影される画像を拡大します	***14***
3.	ネジ	ランプカバーを固定します	***29***
4.	参照上面図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンと LED		***3***
5.	前面 IR レシーバ	リモートコントロールからの IR 信号を受信します	***8***
6.	レンズ	使用前にレンズキャップを開けてください	
7.	レンズカバー	レンズを使用しないときにレンズを覆います	
8.	高さ調整ボタン	押して高さアジャスタを解放します	***13***

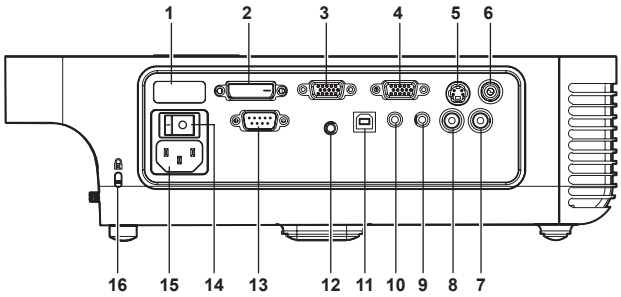
重要：
プロジェクタの通気口はプロジェクタランプを冷却するための通気を保ちます。通気口をふさがないでください。

上面図—オンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンとLED



項目	名称	説明		参照ページ
1.	キーストーン/ 下カーソル	画像の歪み（下が広い）を補正します OSD をナビゲートし、設定を変更します		15
2.	ボリューム-/ 左カーソル	ボリュームを小さくします OSD をナビゲートし、設定を変更します		15
3.	準備 LED	オレンジ	ランプ準備完了—プロジェクタを安全にオンまたはオフにできます	
		点滅	ランプ準備中—電源ボタンを押さないでください	
4.	キーストーン/ 上カーソル	画像の歪み（上が広い）を補正します OSD をナビゲートし、設定を変更します		15
5.	電源 LED	緑色	ユニットの電源が投入され、正しく動作しています	
		オフ	ユニットの電源が入っていません	
		点滅	操作エラーコード （LED エラーメッセージ（35ページ）を参照）	
6.	Enter	OSD の設定を変更します		15
7.	ボリューム+/ 右カーソル	ボリュームを大きくします OSD をナビゲートし、設定を変更します		14
8.	自動	画像サイズ、位置、解像度を最適化します OSD をナビゲートし、設定を変更します		15
9.	メニュー	OSD を開いたり閉じたりします		
10.	ソース	入力デバイスを検出します		11
11.	電源	プロジェクタの電源をオンまたはオフにします		11

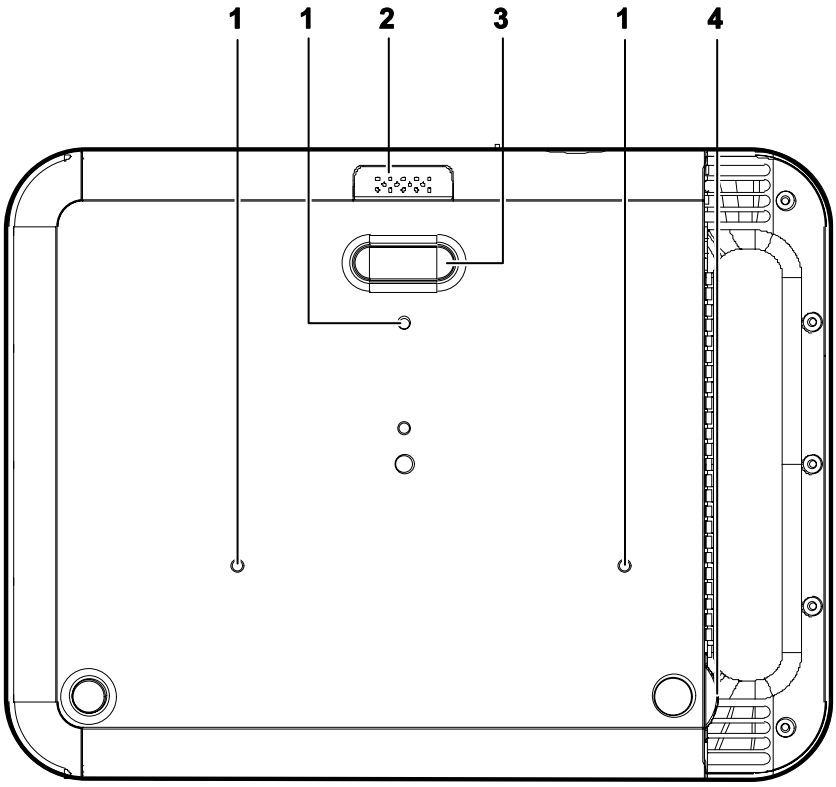
背面図



項目	名称	説明	参照ページ：
1.	背面 IR レシーバ	リモートコントロールからの IR 信号を受信します	***8***
2.	DVI-D	コンピュータからのコンピュータケーブルを接続します	***10***
3.	VGA IN	コンピュータからの VGA ケーブル（付属）を接続します	***10***
4.	VGA OUT	モニタに接続します	
5.	S-ビデオ	ビデオデバイスからのコンポジットまたは S-ビデオケーブル（別売）を接続します	
6.	ビデオ	ビデオデバイスからのビデオケーブル（付属）を接続します	
7.	音声入力-右	音声入力デバイスからのオーディオケーブル（別売）を接続します	
8.	音声入力-左	音声入力デバイスからのオーディオケーブル（別売）を接続します	
9.	音声入力	コンピュータの音声出力コネクタからのオーディオケーブル（別売）を接続します	
10.	音声出力	オーディオループスルー	
11.	USB	コンピュータからの USB ケーブル（付属）を接続します	
12.	12V コネクタ	スクリーンからの 12 ボルトトリガーケーブルをこのコネクタに接続します	
13.	RS-232	インストールコントロール	
14.	電源スイッチ	電源をオンまたはオフにします	***11***
15.	電源	付属の電源コードを接続します	***11***
16.	セキュリティーロック	Kensington® ロックシステムで固定された物品に固定します	***33***

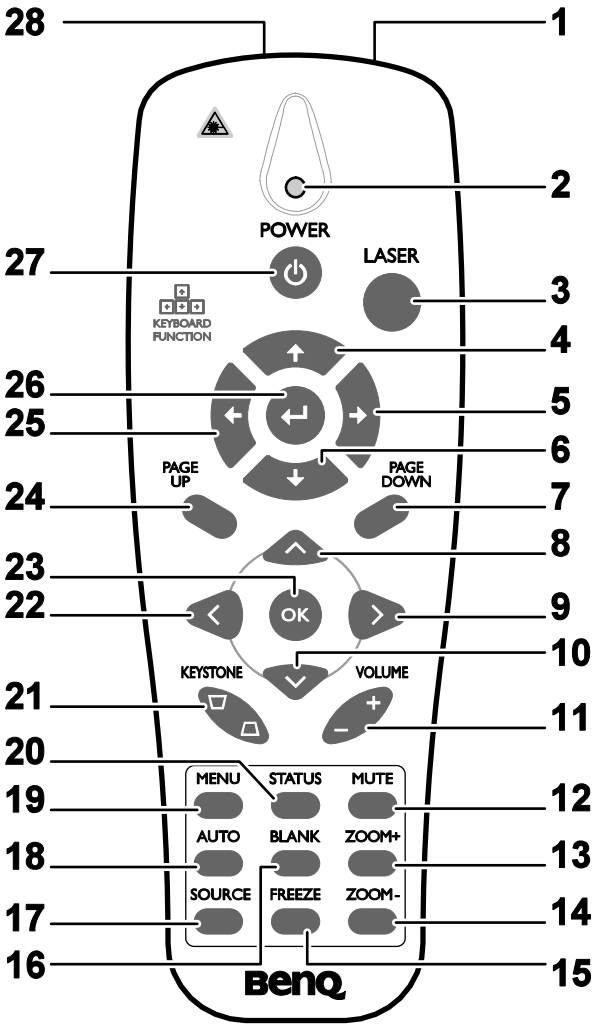
メモ：
お使いのビデオ設備が S-ビデオと RCA ジャック（ビデオ）の両方を備えている場合、S-ビデオコネクタに接続します。
S-ビデオのほうが品質の高い信号を提供します。

底面図



項目	名称	説明	参照ページ：
1.	天井支持孔	プロジェクタの天井への取り付けについては販売店にご連絡ください。	
2.	高さアジャスタボタン	押して高さアジャスタを解放します	***13***
3.	高さアジャスタ	アジャスタボタンが押されると、アジャスタが下ります	
4.	傾斜アジャスタ	画像の角度を調整します	

リモートコントロール各部



重要：
1.明るい蛍光灯を点灯してプロジェクタを使用しないでください。一部の高周波蛍光灯はリモートコントロールの操作に影響することがあります。

2.リモートコントロールとプロジェクタの間に障害物がないようにしてください。リモートコントロールとプロジェクタの間に傷害物があると、プロジェクタのスクリーンなど一部の反射表面で信号が跳ね返ることがあります。

3.プロジェクタ上のボタンおよびキーは、リモートコントロール上の対応するボタンと同じ機能を備えています。このユーザーズマニュアルはリモートコントロールに基づいて機能を説明します。

項目	名称	説明	参照ページ：
1.	IR トランスミッタ	プロジェクタに信号を送信します	
2.	状態 LED	リモートコントロールが使用されると点灯します	
3.	レーザー	押して画面上のポインタを操作します	
4.	上	USB を介して PC に接続されているとき上矢印	

項目	名称	説明	参照ページ：
5.	右	USB を介して PC に接続されているとき右矢印	
6.	下	USB を介して PC に接続されているとき下矢印	
7.	次ページ	USB を介して PC に接続されているとき次ページ	
8.	上カーソル	OSD をナビゲートし、設定を変更します	***15***
9.	右カーソル		
10.	下カーソル		
11.	ボリューム +/-	ボリュームを調整します	***14***
12.	ミュート	内蔵スピーカーをミュートします	
13.	ズーム+	ズームインします	
14.	ズーム-	ズームアウトします	
15.	フリーズ	画面上の画像をフリーズ/フリーズ解除します	
16.	空白	画面を空白にします	
17.	ソース	入力デバイスを検出します	
18.	自動	フェーズ、トラッキング、サイズ、位置を自動調整します	
19.	メニュー	OSD を開きます	***15***
20.	状態	OSD 状態メニューを開きます（このメニューは入力デバイスが検出されたときのみ開きます）	***28***
21.	キーストーン上/下	画像の歪み（上/下が広い）を補正します	***14***
22.	左カーソル	OSD をナビゲートし、設定を変更します	***15***
23.	Enter	OSD の設定を変更します	
24.	前頁	USB を介して PC に接続されているとき前ページ	
25.	左	USB を介して PC に接続されているとき左矢印	
26.	Enter	USB を介して PC に接続されているとき Enter キー	
27.	電源	プロジェクタをオンまたはオフにします	***11***
28.	レーザー	画面上のポインタとして使用します。**目に当てないでください。**	

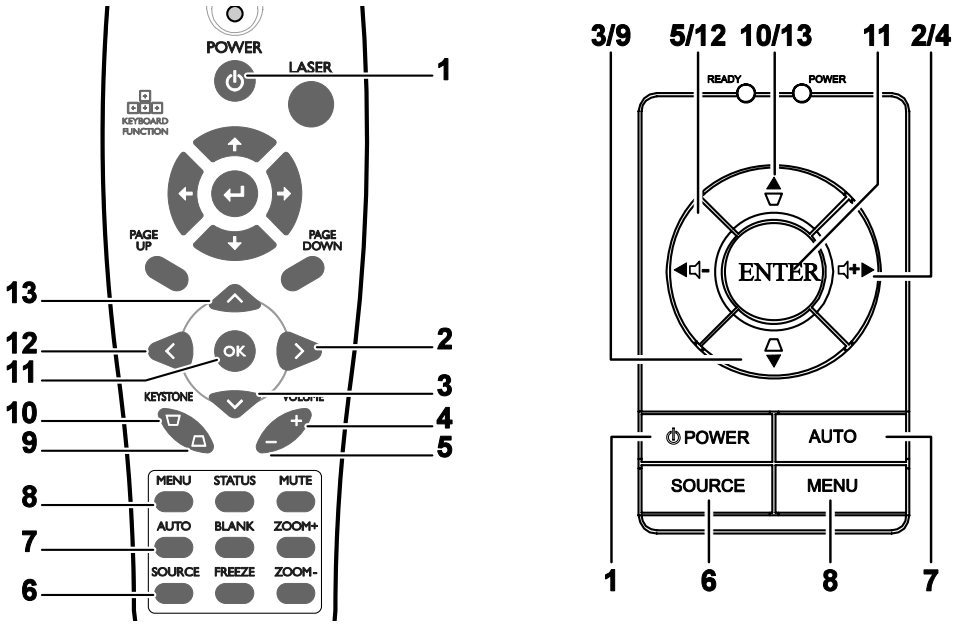
メモ：
リモートコントロールは、USB ケーブル接続を介してコンピュータに接続されているときのみインターフェースとして動作することができます。コンピュータケーブルはディスプレイ目的でのみコンピュータをプロジェクタに接続します。

リモートコントロール操作範囲

リモートコントロールは赤外線伝送を使ってプロジェクタをコントロールします。プロジェクタに対して直接リモートコントロールを向ける必要はありません。リモートコントロールは、プロジェクタの側面または背面に対して垂直に保持されていないことを条件に、リモートコントロールは半径約 7 メートル（23 フィート）およびプロジェクタの水平面より 15 度上または下の範囲内で機能します。プロジェクタがリモートコントロールに反応しない場合は少し近付いてください。

プロジェクタおよびリモートコントロールのボタン

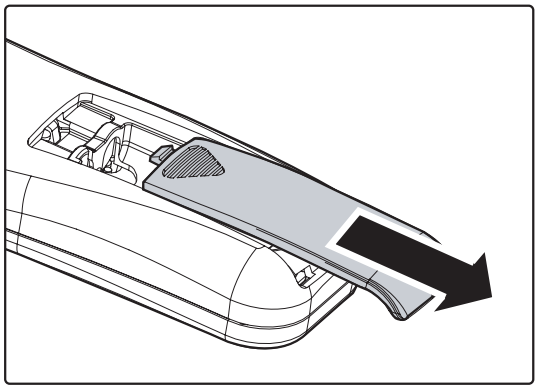
プロジェクタは、リモートコントロールまたはプロジェクタ上面のボタンを使って操作することができます。リモートコントロールではすべての操作を行なうことができますが、プロジェクタ上のボタンは使用が限られています。次の図にリモートコントロールとプロジェクタ上の対応するボタンを示します。



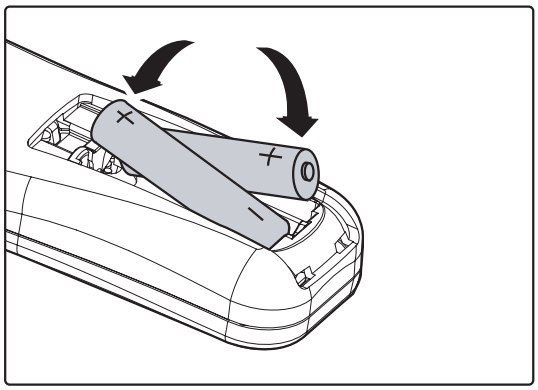
プロジェクタ上の一部のボタンには 2 つの機能があります。例えば、プロジェクタ上の項目 10/13 は、OSD メニューでキーストーンボタンと上カーソルキーの両方として動作します。

リモートコントロールの電池の挿入

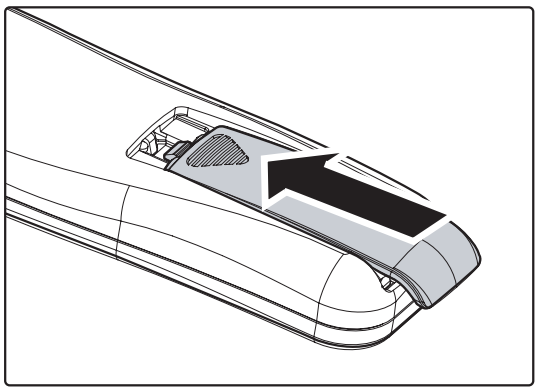
1. 電池挿入部のカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外します。



2. 付属の電池をここに示された極性（+/-）に注意して挿入します。



3. カバーを取り付けます。



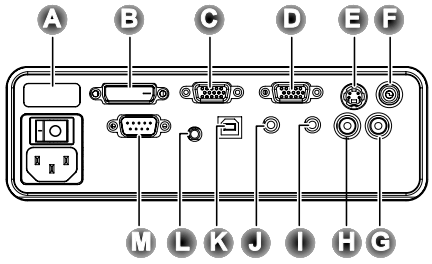
注意：
1.単 4 電池（アルカリ電池推奨）のみを使用してください。

2.使用済み電池は地域の条例に従って処理してください。

3.プロジェクタを長期間使用しないときは電池を取り外してください。

入力デバイスの接続

PC またはノートブックコンピュータ、ビデオデバイスを同時にプロジェクタに接続することができます。ビデオデバイスには DVD、VCD、VHS プレイヤー、映像カムコーダー、スチールカメラが含まれます。接続するデバイスが適切な出力コネクタを備えているか、そのデバイスのユーザマニュアルを確認してください。



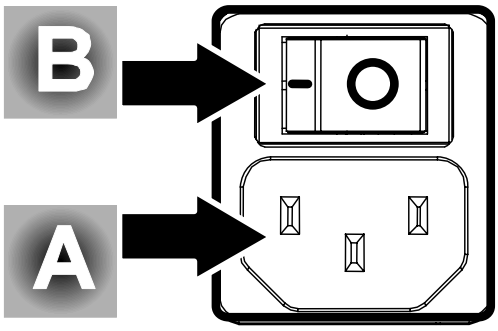
項目	名称	説明
A	背面 IR レシーバ	リモートコントロールからの IR 信号を受信します。
B	DVI-D	コンピュータからの DVI ケーブルを接続します。
C	VGA 入力	コンピュータからの VGA ケーブルを接続します。
D	VGA 出力	VGA ケーブルをモニタに接続します。
E	S-ビデオ	ビデオデバイスからの S-ビデオケーブルを接続します。
F	ビデオ	ビデオデバイスからのビデオケーブルを接続します。
G	音声入力-右	音声入力デバイスからのオーディオケーブルを接続します。
H	音声入力-左	音声入力デバイスからのオーディオケーブルを接続します。
I	音声入力	コンピュータの音声出力コネクタからのオーディオケーブルを接続します。
J	音声出力	オーディオループスルー
K	USB	USB マウス機能やファームウェア更新のためコンピュータからの USB ケーブルを接続します。
L	12V	スクリーンからの 12 ボルトトリガーケーブルをこのコネクタに接続します。
M	RS-232	インストールコントロール用です。

警告：
安全のため、接続を行う前にプロジェクタと接続デバイスの電源をすべて切断してください。

プロジェクタの起動と終了

1. レンズカバーを開けます。

2. 電源コードをプロジェクタに接続します（**A**）。もう一方の端をコンセントに接続します。
スイッチ（B）をオフ（**O**）からオン（-）にします。



3. プロジェクタ上の電源と準備 LED が点灯します。接続されたデバイスの電源を入れます。

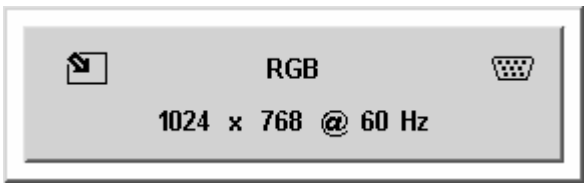
4. 準備 LED がオレンジ色に点灯している（点滅していない）ことを確認してから、**電源**ボタンを押してプロジェクタをオンにします。



プロジェクタのスプラッシュスクリーンが表示され、接続されたデバイスが検出されます。
接続されたデバイスが PC の場合、コンピュータのキーボード上で適切なキーを押してディスプレイ出力をプロジェクタに切り換えます。（お使いの PC のユーザマニュアルでディスプレイ出力を切り換えるための適切な Fn キーを確認してください。）

セキュリティーロックが有効にされている場合、アクセスパスワード（セキュリティーロック）の設定（12ページ）を参照してください。

5. １つ以上の入力デバイスが接続されている場合、**ソース**ボタンを押すとそれらデバイス間での切り換えが繰り返されます。（DVD と HDTV は RGB コネクタを介してサポートされます。）



6. プロジェクタの電源を切るには、**電源**ボタンを押します。プロジェクタが電源を切る準備に入り、「しばらくお待ちください…」というメッセージが表示されます。



7. 「電源オフ？電源を切るには再び"Power"を押します。」というメッセージが表示されたら、**電源**ボタンを押してください。プロジェクタの電源が切れます。



8. **準備** LED の点灯が止まったら、主**電源**スイッチをオフにします。

注意：
準備 LED の点滅が終了してプロジェクタが冷却されたことを示すまで、電源コードを抜かないでください。

アクセスパスワード（セキュリティーロック）の設定

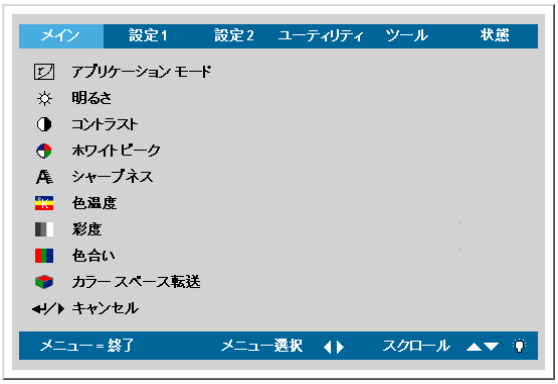
カーソル（矢印）ボタンを使用してパスワードを設定し、プロジェクタの不正使用を防ぐことができます。これが有効にされると、プロジェクタに電源を入れた後にパスワードの入力が必要となります（OSD メニューの使用についてはOSD のナビゲーション（15ページ）とOSD 言語の設定（16ページ）を参照してください。

> ***重要：***
> *パスワードは安全な場所に保管してください。パスワードがなければプロジェクタを使用することができません。パスワードをなくした場合は、パスワードのクリアについて販売店にご連絡ください。*

1. **メニュー**ボタンを押して OSD メニューを開きます。

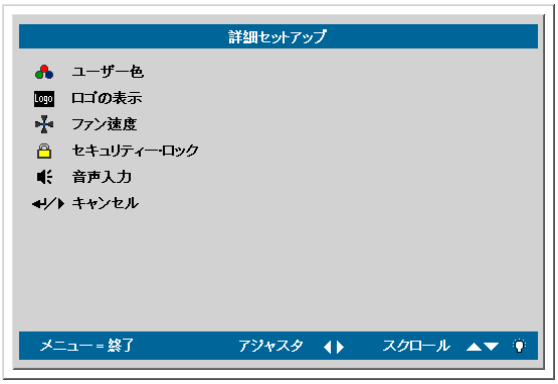
2. カーソル ◀ ▶ボタンを押して**設定 1** メニューに移動します。

3. カーソル ▲▼ ボタンを押して **詳細セットアップ**を選択し、**Enter** または ▶ を押します。



4. カーソル ▲▼ ボタンを押して **セキュリティーロック**を選択します。

5. カーソル ◀ ▶ ボタンを押して **有効にする**を選択します。（白い文字が選択されたことを示します。）
パスワードダイアログボックスが自動的に表示されます。

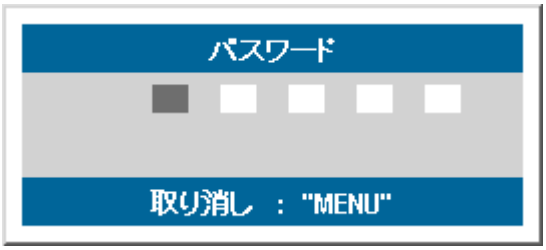


6. 次の 4 つのカーソル ボタン：▲▼◀ ▶ のみパスワード欄で使用できます。同じ矢印 5 回を含め、あらゆる組み合わせを使用できますが、5 つより少なく設定することはできません。
カーソル ボタンを任意の順序で押してパスワードを設定します。パスワードを確認すると、**OK** が表示されます。



プロジェクタを起動するたびにパスワードダイアログボックスが表示されます。

手順 6 で設定した通りの順にパスワードを入力します。（誤ったパスワードを入力した場合、**メニュー**ボタンを押してキャンセルします。）



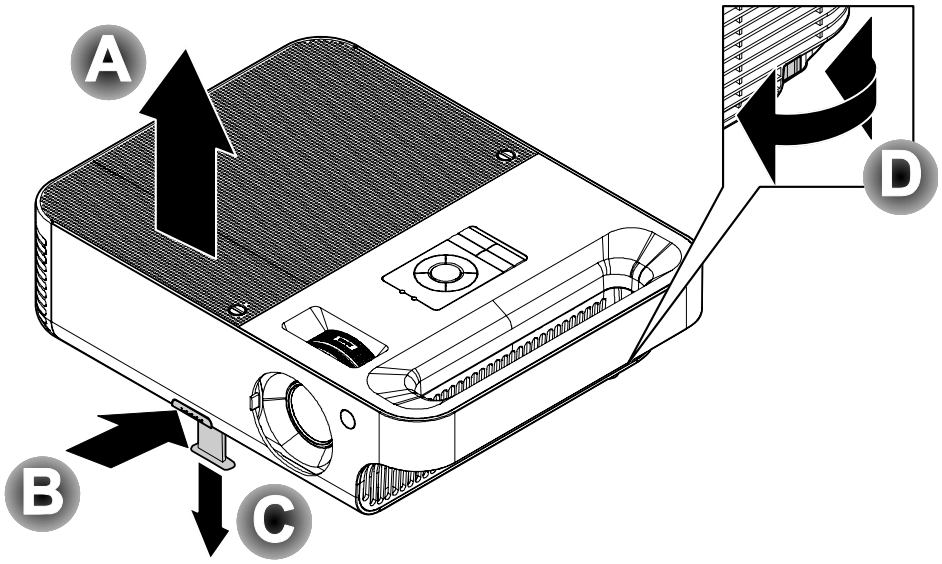
プロジェクタ水平度の調整

プロジェクタの設置時には次の点に注意してください：

プロジェクタテーブルまたはスタンドは水平で頑丈である必要があります。

スクリーンに対して垂直になるようにプロジェクタを配置します。

ケーブルが邪魔になったり、プロジェクタが倒れたりする原因とならないようにします。



1. プロジェクタの高さを高くするには、プロジェクタ **[A]**を持ち上げ、高さアジャスタボタン **[B]**を押します。

   高さアジャスタが下がります**[C]**。

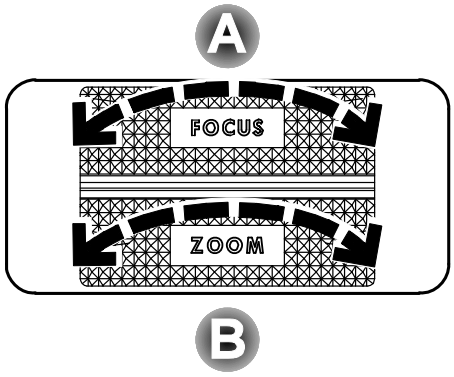
2. プロジェクタの高さを低くするには、高さアジャスタボタンを押してプロジェクタ上面を押します。

3. 画面の角度を調整するには、傾斜アジャスタ**[D]**を右または左に回し、必要な角度に調整します。

ズーム、フォーカス、キーストーンの調整

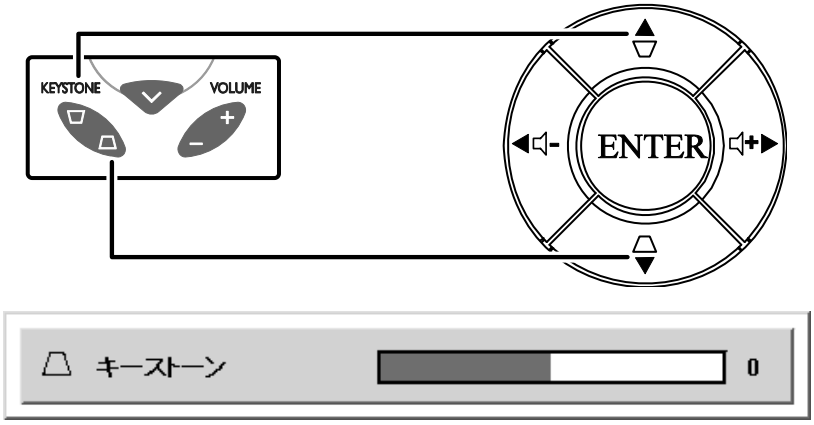
1. **画像ズーム**コントロール（プロジェクタ上のみ）を使い、投影された画像とスクリーンサイズを変更します B。

2. **画像フォーカス**コントロール（プロジェクタ上のみ）を使い、投影された画像をシャープにします A。



3. リモートコントロールまたはプロジェクタ上の**キーストーン**ボタンを押します。ディスプレイにキーストーンコントロールが表示されます。

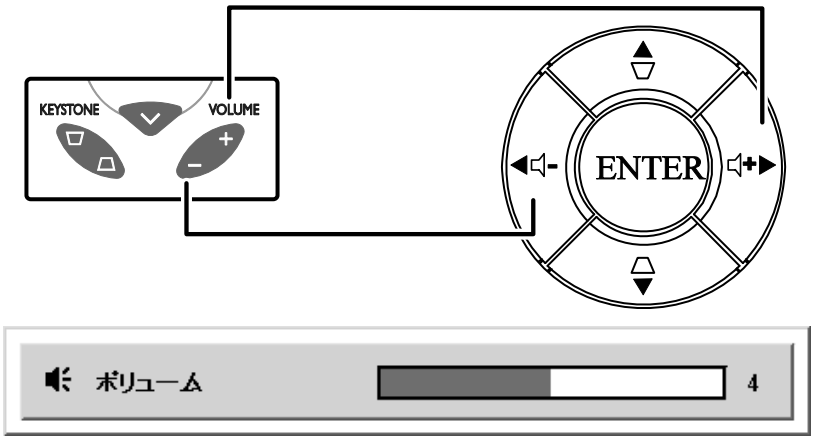
4. **キーストーン**ボタンを使い、画像の歪みを補正します。



ボリュームの調整

1. リモートコントロールまたはプロジェクタ上の**ボリューム** +/-ボタンを押します。ディスプレイにボリュームコントロールが表示されます。

2. **ボリューム** +/-ボタンを使い、レベルを調整します。



3. **ミュート**ボタンを押すとボリュームをオフにすることができます（リモートコントロール上のみ）。



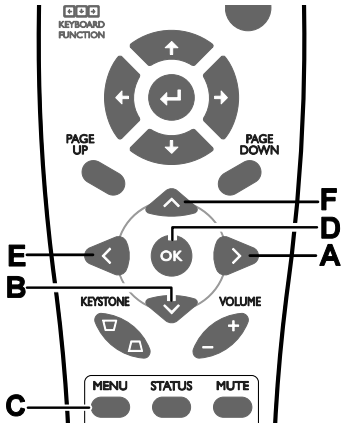
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー設定

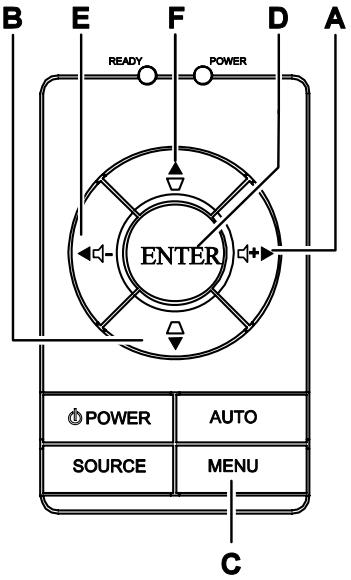
OSD メニューコントロール

プロジェクタには画像の調整とさまざまな設定の変更を行うための OSD があります。

OSDのナビゲーション

リモートコントロールのカーソル ボタンまたはプロジェクタ上面のボタンを使い、OSD をナビゲートし、変更を行うことができます。次の図にリモートコントロールとプロジェクタ上の対応するボタンを示します。





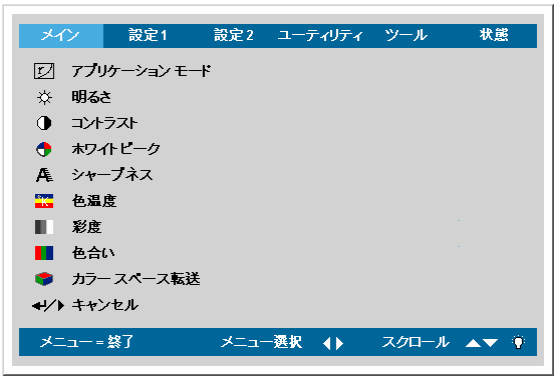
A. OSD を開くには、**メニュー**ボタンを押します。

B. 6 つのメニューがあります。カーソルボタンを押して ◀▶ メニュー上を移動します。

C. カーソル ▲▼ ボタンを押して、メニューで上下に移動します。

D. ◀▶を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。

E. **メニュー**を押して OSD を閉じるか、サブメニューから出ます。

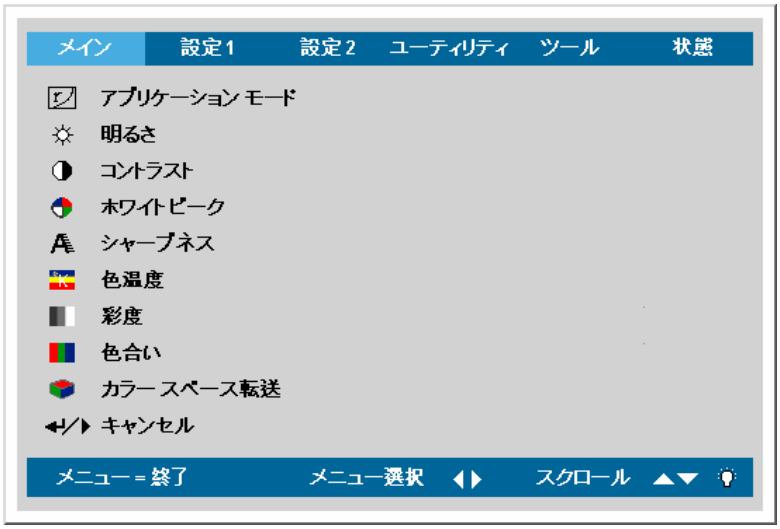


メモ：
*ビデオソースによってOSD の全項目が利用可能でない場合があります。例えば、セットアップメニューの**水平/垂直位置**の項目は、PC に接続されているときのみ変更することができます。利用できない項目はアクセスすることができず、灰色で表示されます。*

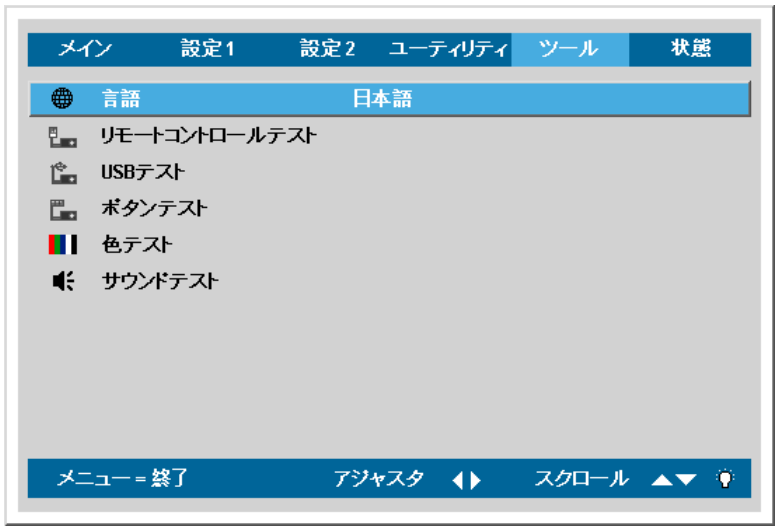
OSD 言語の設定

お使いのプロジェクタの OSD を参照しながらこのセクションを読むとよいでしょう。続ける前に OSD の言語を設定します（デフォルトの言語は英語です）。

1. **メニュー**ボタンを押します。**メイン**メニューが表示されます。



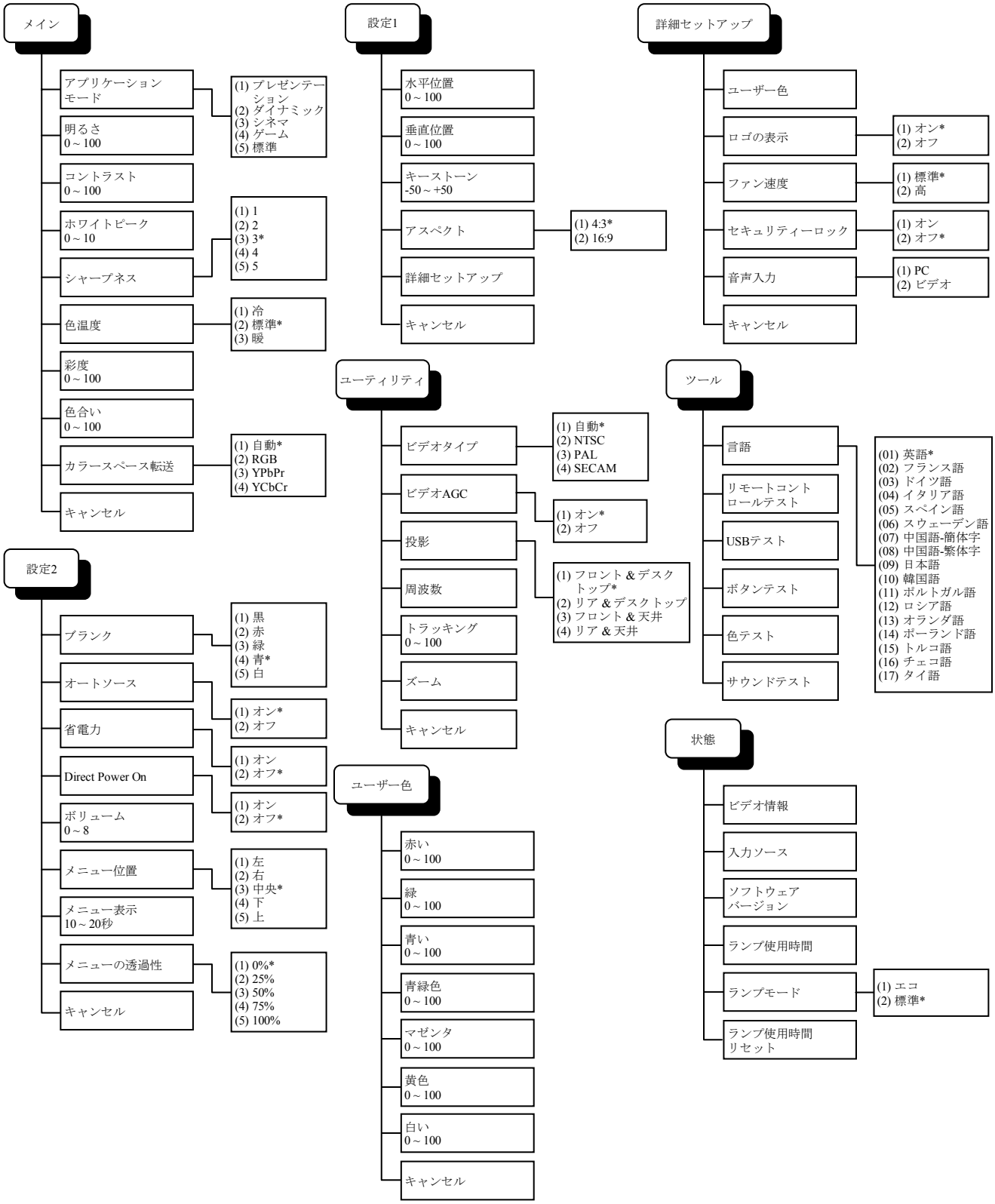
2. カーソル ◀ ▶ボタンを押して**ツール**をハイライト表示させます。



3. カーソル ▲▼ ボタンを押して**言語**をハイライト表示させます。
4. 希望の言語が表示されるまでカーソル ◀ ▶を押します。
5. カーソル ▶または**メニュー**ボタンを押してその言語を確定し、OSD を閉じます。

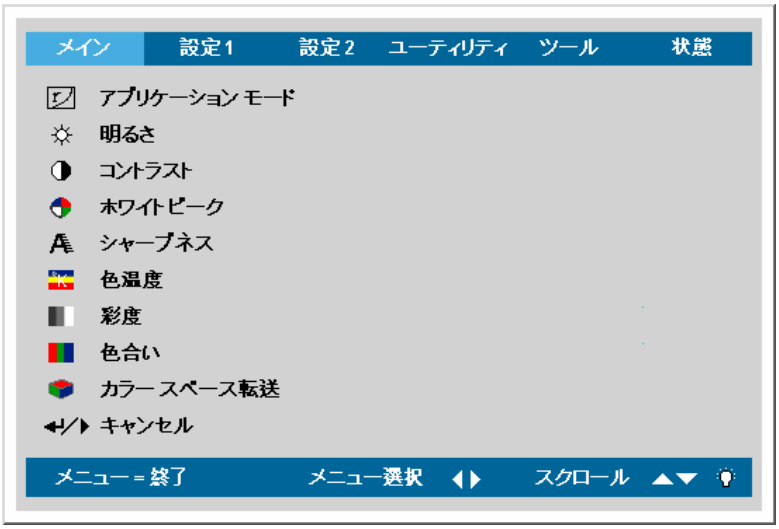
OSDメニューの概要

次の図を使い、設定を素早く見つけたり、設定の範囲を確認することができます。



メイン メニュー

メニューボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀ ▶ ボタンを押して**メイン**メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**メイン**メニューで上下に移動します。◀ ▶を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



項目	説明	デフォルト
アプリケーションモード	カーソル ◀ ▶ボタンを押して必要なアプリケーションモードを選択します。	ソースによる
明るさ	カーソル ◀ ▶ボタンを押して明るさを調整します。（範囲：0 – 100）	50
コントラスト	カーソル ◀ ▶ボタンを押してコントラストを調整します。（範囲：0 – 100）	50
ホワイトピーク	ホワイトピークは、黒および濃い灰色を変えることなく最も明るい城の出力を増加します。白が若干つぶれますが、切り取られたり、白の細部がひどく不明瞭になるということはありません。強い画像をお好みの場合、最大設定に向けて調整します。よりスムースで自然な画像にするには最小設定に向けて調整します。 カーソル ◀ ▶ボタンを押してホワイトピークを調整します。	ソースによる
シャープネス	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してディスプレイのシャープネスを調整します（範囲：1 – 5）	3
色温度	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してビデオの色合い/色相を調整します。（範囲：冷/普通/暖）	普通
彩度	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してビデオの彩度を調整します。（範囲：0 – 100）	50
色合い	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してビデオの色合い/色相を調整します。（範囲：0 – 100）	50
カラースペース転送	カーソル ◀ ▶ボタンを押してカラースペース転送を調整します。（範囲：自動 – RGB – YPbPr- YCbCr）	自動
キャンセル	すべての**メイン**設定をデフォルト値にリセットします。	—

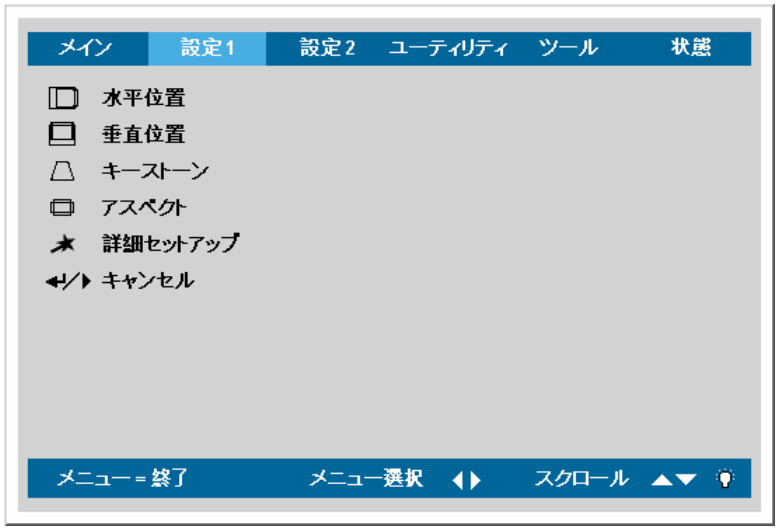
接続されたソースで利用可能なメインメニュー機能

機能	RGB	DVI-D	コンポーネント	ビデオ	S-ビデオ
アプリケーション機能	O	O	O	O	O
明るさ	O	O	O	O	O
コントラスト	O	O	O	O	O
ホワイトピーク	O	O	O	O	O
シャープネス	O	O	O	O	O
色温度	O	O	O	O	O
彩度			O	O	O
色合い			O	O	O
カラースペース転送	O	O	O	O	O
キャンセル	O	O	O	O	O

O = ビデオソースで利用可能

設定 1 メニュー

メニューボタンを押して **OSD** メニューを開きます。カーソル ◀ ▶ ボタンを押して**設定 1** メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**設定 1** メニューで上下に移動します。◀ ▶を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



項目	説明	デフォルト
水平位置	カーソル ◀ ▶ボタンを押して画像を左または右に移動します。（範囲：0 – 100）	50（中央揃え）
垂直位置	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して画像を上または下に移動します。（範囲：0 – 100）	50（中央揃え）
キーストーン	カーソル ◀ ▶ボタンを押して投影された画像の歪みを補正します。（範囲：-50 – +50）	0
アスペクト	カーソル ◀ ▶ボタンを押して 4：3 標準形式または 16：9 高解像度 TV（HDTV）形式間を切り換えます。	4：3
詳細セットアップ	詳細セットアップ（21ページ）を参照してください。	—
キャンセル	キーストーンとアスペクト比をデフォルト値にリセットします。	—

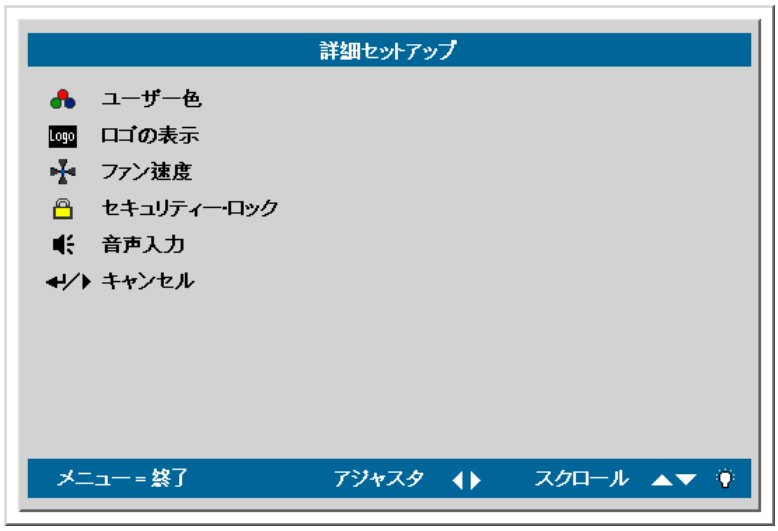
接続されたソースで利用可能なセットアップメニュー機能

機能	RGB	DVI-D	コンポーネント	ビデオ	S-ビデオ
水平位置	O				
垂直位置	O				
キーストーン補正	O	O	O	O	O
アスペクト	O	O	O	O	O
詳細セットアップ	O	O	O	O	O
キャンセル	O	O	O	O	O

O = ビデオソースで利用可能

詳細セットアップ

メニューボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀▶ を押して**設定 1** メニューに移動します。▲▼を押して**詳細セットアップ**メニューに移動し、**Enter** または▶を押します。▲▼を押して**詳細セットアップ**メニューで上下に移動します。◀▶を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



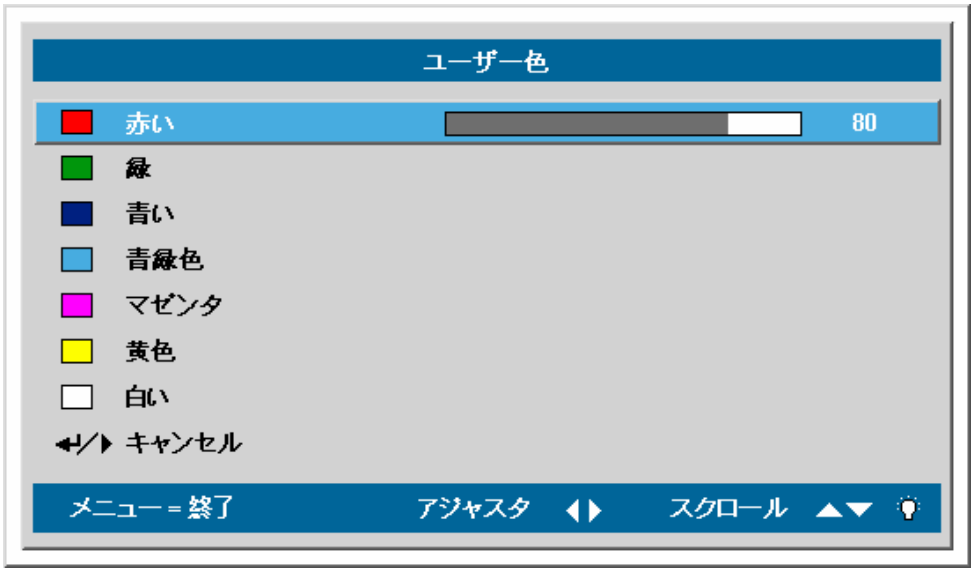
項目	説明	デフォルト
ユーザー色	この機能は色補正調整を使用して、RGB（赤、緑、青）と、それらの中間色（青緑色、マゼンタ、黄色、白）の各色における色バランスを調整します。ある色の設定を上げると、画面上のその色の強度が増し、設定を下げると、その色が弱くなります。 ▲▼ を押していろを選択します。 ◀▶ を押して選択した色を調整します。（範囲：0 – 100）	80
ロゴの表示	◀▶ を押してプロジェクタが起動されたときにソースが検出されない場合のロゴの表示を有効または無効にします。（範囲：オン – オフ）	オン
ファン速度	カーソル ◀▶ ボタンを押して普通と高速のファン速度間を切り換えます。海抜 1500 メートル（5000 フィート）を超える場所ではファン速度を**高**に設定します。	普通

項目	説明	デフォルト
セキュリティーロック	カーソル ◀ ▶ボタンを押してセキュリティーロックを有効または無効にします。セキュリティーロックを有効にすると、パスワード登録ダイアログボックスが表示されます：  パスワード欄では次の 4 つのカーソルボタン▲▼◀ ▶のみ使用することができます。カーソルボタンを任意の順序で 5 回押してパスワードを設定します。パスワードが有効にされると、プロジェクタの電源を入れた後毎回パスワードを入力する必要があります。パスワード設定の手順については、アクセスパスワード（セキュリティーロック）の設定（12ページ）を参照してください。	—
音声入力	カーソル ◀ ▶ボタンを押して **PC** と**ビデオ**入力チャンネル間を切り換えます。 カーソル ◀ ▶ボタンを押して異なる音声入力チャンネルを選択します。	データソース：PC ビデオソース：ビデオ
キャンセル	**Enter** または▶を押して詳細セットアップの設定をデフォルト値にリセットします。	—

メモ：
セキュリティーロックが有効にされると、プロジェクタの電源を入れるたびにパスワードの入力が必要となります。但し、プロジェクタの電源がすでに入れられている場合、セキュリティーロックは現在のパスワードを知らなくとも無効にすることができます。

ユーザー色

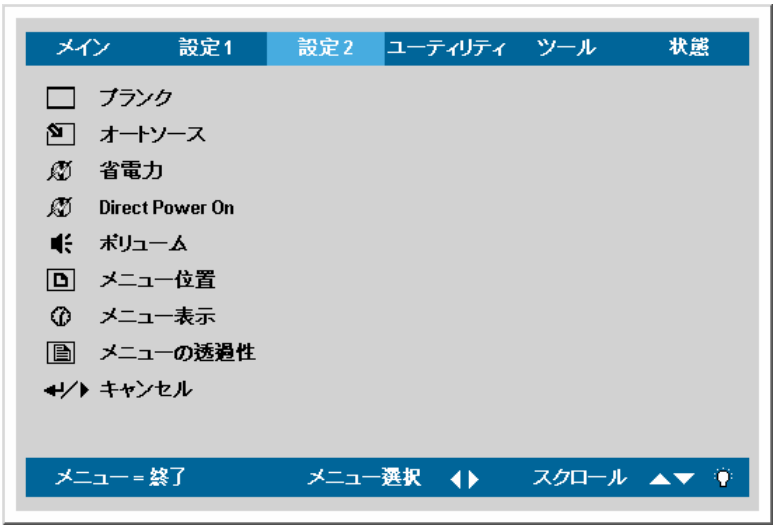
メニューボタンを押して **OSD** メニューを開きます。◀ ▶を押して**設定 1** メニューに移動します。▲▼を押して**詳細セットアップ**メニューに移動し、**Enter** または▶を押します。▲▼を押して**ユーザー色**メニュー二移動し、**Enter** または▶を押します。▲▼ を押して上下に移動し、色を選択します。◀ ▶ を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



項目	説明	デフォルト
赤い	カーソル ◀ ▶ボタンを押して赤色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
緑	カーソル ◀ ▶ボタンを押して緑色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
青い	カーソル ◀ ▶ボタンを押して青色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
青緑色	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して青緑色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
マゼンタ	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してマゼンタ色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
黄色	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して黄色のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
白い	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して白のレベルを調整します。（範囲：0 - 100）	80
キャンセル	すべてのユーザー色設定をデフォルト値にリセットします。	—

設定 2 メニュー

メニューボタンを押して**メイン**メニューを開きます。カーソル ◀ ▶ ボタンを押して**設定 2** メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**設定 2** メニューで上下に移動します。◀ ▶ を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。

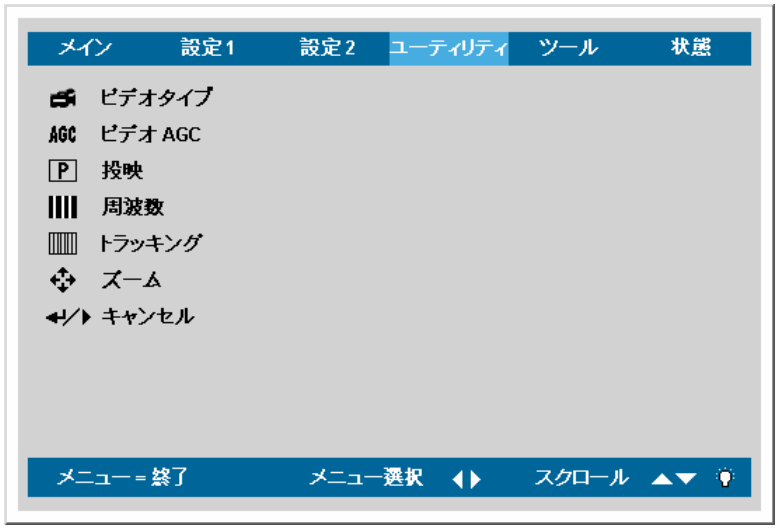


項目	説明	デフォルト
ブランク	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してブランクスクリーンの背景色を選択します。（範囲：黒 – 赤 – 緑 – 青 – 白）	青
オートソース	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して自動ソース検出を有効または無効にします。（範囲：オン – オフ）	オン
省電力	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して 10 分間動作がない状態が続いた後の自動ランプシャットダウンを有効または無効にします。（範囲：オン – オフ）	オフ
Direct Power On	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して直接電源投入を有効または無効にします。有効にされると、AC 電源が供給されたときプロジェクタの電源が自動的に投入されます。（範囲：オン – オフ）	オフ
ボリューム	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して音声のボリュームレベルを調整します。（範囲：0 – 8）	4
メニュー位置	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して OSD を画面上に配置します。（範囲：左 – 右 – 中央 – 下 – 上）	中央
メニュー表示	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して OSD のタイムアウト遅延を決定します。（範囲：10 – 20 秒）	15 秒
メニューの透過性	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してメニュー画面の透過性を設定します。（範囲：0% – 100%）	0%
キャンセル	すべての設定項目をデフォルト値にリセットします。	—

メモ：
設定メニュー機能はすべてのビデオソースで利用可能です。

ユーティリティ メニュー

メニューボタンを押して**メイン**メニューを開きます。カーソル ◀ ▶ ボタンを押して**ユーティリティ**メニュー二移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**ユーティリティ**メニューで上下に移動します。◀ ▶を押して設定の値を変更し、**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



項目	説明	デフォルト
ビデオタイプ	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してビデオの規格を選択します。（範囲：自動 – NTSC – PAL – SECAM）	自動
ビデオ AGC	カーソル ◀ ▶ ボタンを押してビデオソースの自動ゲインコントロールを有効または無効にします。（範囲：オン – オフ）	オン
投影	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して 4 つの投影法から選択します： P デスクトップ設置、スクリーンのフロント q デスクトップ設置、スクリーンのリア d 天井設置、スクリーンのフロント b 天井設置、スクリーンのリア	デスクトップフロント P
周波数	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して A/D サンプリングクロックを調整します。（範囲：0° – 180° ）	自動検出
トラッキング	カーソル ◀ ▶ ボタンを押して A/D サンプリング数を調整します。（範囲：0 – 100）	自動検出

項目	説明	デフォルト
ズーム	ズームとパン調整のデジタル操作です。 **Enter** または▶を押します。ズームメニューが表示されます。  ▲ を押すとズームインします。▼を押すとズームアウトします。**Enter** または▶を押してパンメニューを開きます。（パンメニューを開く前にズームインする必要があります。）  カーソルボタンを使い、ズームされた画像をパンします。**メニュー**ボタンを押して終了します。	—
キャンセル	ビデオタイプ、ビデオ AGC、投影、デジタルズームをデフォルト値にリセットします。	—

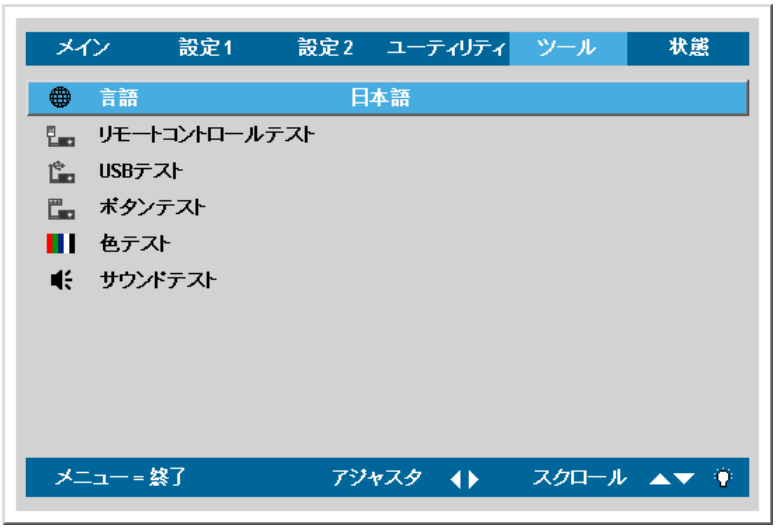
接続されたソースで利用可能なユーティリティメニュー機能

機能	RGB	DVI-D	コンポーネント	ビデオ	S-ビデオ
ビデオタイプ				O	O
ビデオ AGC				O	O
投影	O	O	O	O	O
周波数	O		O		
トラッキング	O				
ズーム	O		O	O	O
キャンセル	O	O	O	O	O

O = ビデオソースで利用可能

ツールメニュー

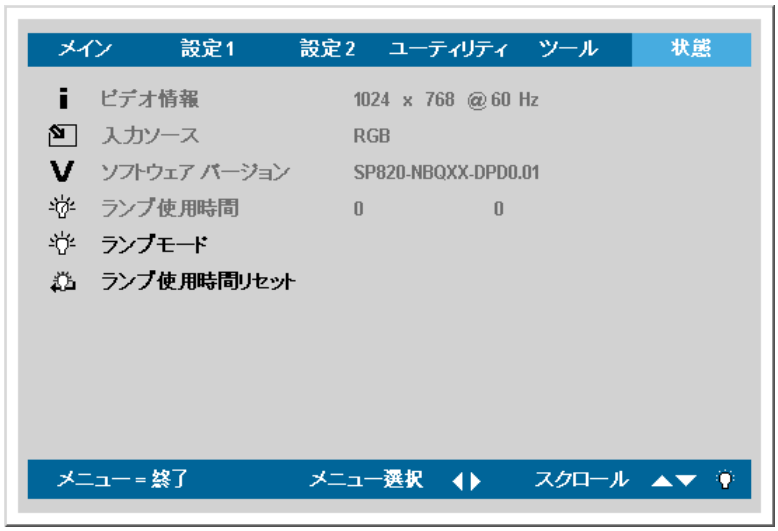
メニューボタンを押して**メイン**メニューを開きます。カーソル◀ ▶ボタンを押して**ツール**メニューに移動します。カーソル ▲▼ボタンを押して**ツール**メニューで上下に移動します。**Enter** または▶を押して新しい設定を確定します。



項目	説明	デフォルト
言語	カーソル ◀ ▶を押して希望の言語を選択します。	英語
リモートコントロールテスト	画面上のプロンプトに従い、リモートコントロールテストを実行します。最後に、またはメニューボタンを押すとツールメニューに戻ります。	
USB テスト	画面上のプロンプトに従い、USB テストを実行します。最後に、またはメニューボタンを押すとツールメニューに戻ります。	
ボタンテスト	画面上のプロンプトに従い、ボタンテストを実行します。最後に、またはメニューボタンを押すとツールメニューに戻ります。	
色テスト	画面上のプロンプトに従い、色テストを実行します。最後に、またはメニューボタンを押すとツールメニューに戻ります。	
サウンドテスト	画面上のプロンプトに従い、サウンドテストを実行します。最後に、またはメニューボタンを押すとツールメニューに戻ります。	

状態メニュー

メニューボタンを押して**メイン**メニューを開きます。カーソル ◀ ▶ ボタンを押して**状態**メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して**状態**メニューで上下に移動します。



項目	説明	デフォルト
ビデオ情報	RGB/DVI-D モードの解像度と垂直走査周波数を表示します。 ビデオモードの色規格を表示します。	これらの項目は表示のみです。
入力ソース	入力ソースを表示します。	
ソフトウェアバージョン	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	
ランプ使用時間	エコおよび標準モードでランプが何時間使用されたかを表示します。 **メモ：** 230w/280w はエコおよび通常モード向けのみです。	
ランプモード	カーソル ◀ ▶ボタンを押してランプモードを選択します。 （範囲：エコ、標準） **メモ：** 230w/280w はエコおよび通常モード向けのみです。 エコモードは省電力でランプの寿命を延長しますが、ランプの明るさが低下します。	標準
ランプ使用時間リセット	ランプを交換した後にこの項目をリセットする必要があります。ランプのリセット（32ページ）を参照してください。	—

投写用ランプの交換

投写用ランプが切れたら交換する必要があります。認定された交換部品で交換を行なってください。部品はお買い上げ店で注文することができます。

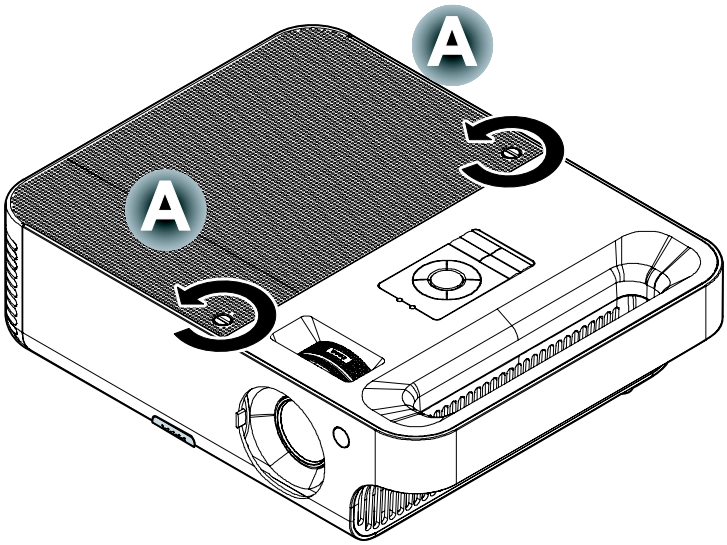
注意：
天井に設置されたプロジェクタからランプを取り外すときは、プロジェクタの下に誰もいないことを確認してください。ランプが焼き切れている場合、ガラスの破片が落下することがあります。

重要：
1.*ランプは一定量の水銀を含み、地域の条例に従って処理する必要があります。*

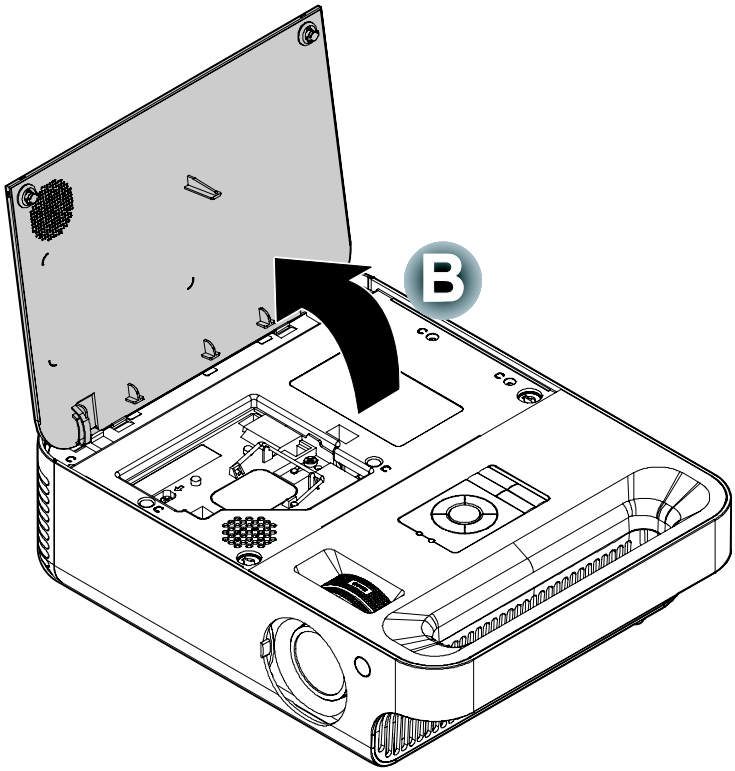
2.*新しいランプのガラス表面に触れないようにしてください。触れると使用寿命が短くなることがあります。*

警告：
ランプ交換の少なくとも 1 時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。

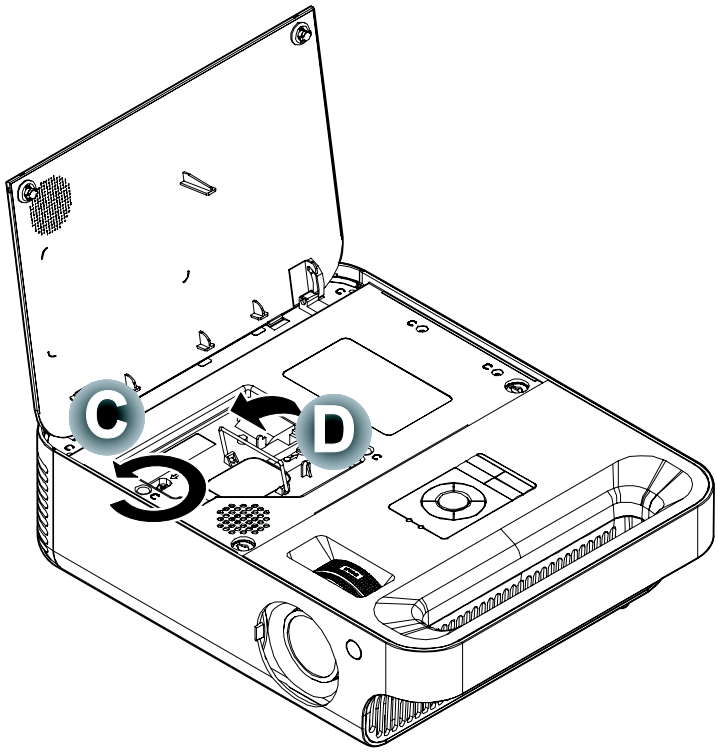
1. ランプ取付部カバー上の 2 本のネジを緩めます（**A**）。



2. ランプ取付部カバーを開けます（**B**）。

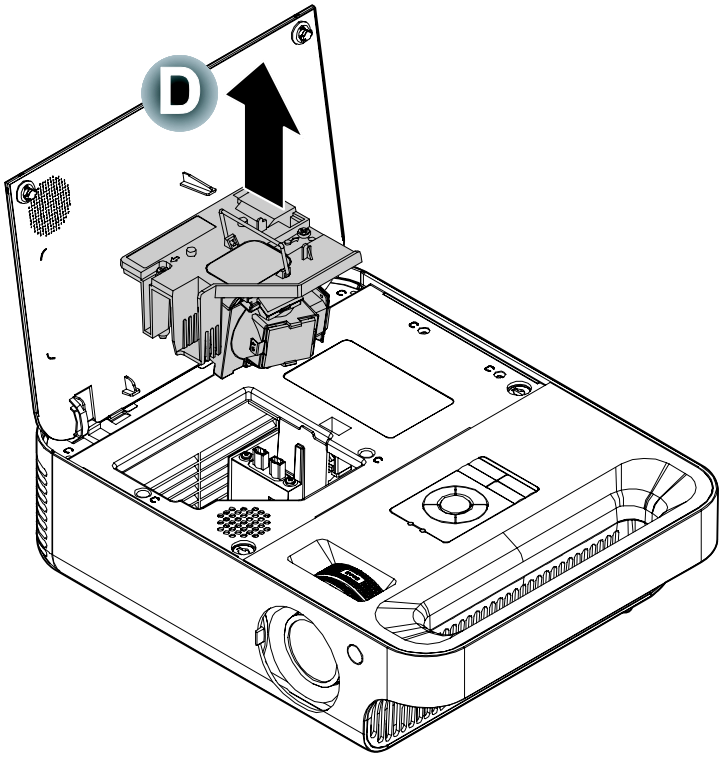


3. ランプモジュールから 2 本のネジを取り外します（**C**）。



4. モジュールのハンドルを上に持ち上げます（**D**）。

5. モジュールのハンドルをしっかりと引いてランプモジュールを取り外します（**D**）。



6. 手順 1 から 5 を逆順に行い、新しいランプモジュールを設置します。

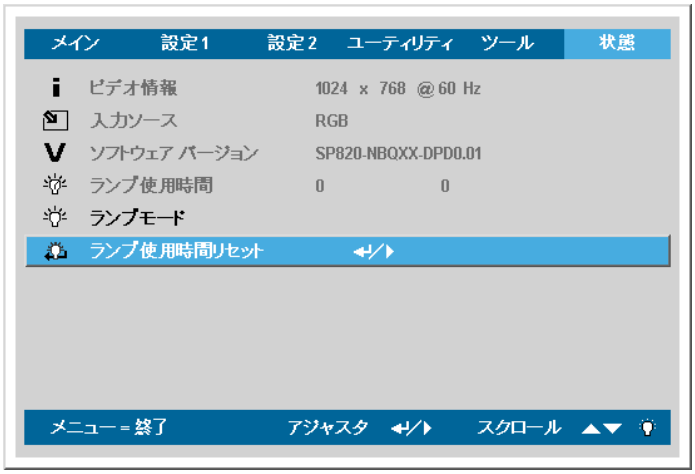
ランプのリセット

ランプを交換した後、ランプ使用時間をゼロにリセットする必要があります。次に従ってください：

1. **メニュー**ボタンを押してメインメニューを開きます。

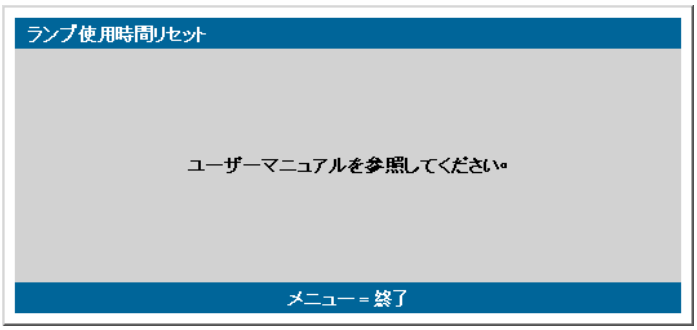
2. カーソル ◀ ▶ボタンを押して**状態**メニューに移動します。

3. カーソル ▲▼ボタンを押して**ランプ使用時間リセット**まで下に移動します。



4. カーソル▶または **Enter** ボタンを押します。

   メッセージ画面が表示されます。



5. カーソルボタンを▼；▲；◀；▶の順に押します。
   状態メニューが再度表示され、**ランプ 使用時間**がゼロにリセットされて表示されます。

プロジェクタのお手入れ

プロジェクタをきれいにし、ほこりやすすを取り除くことはトラブルのない動作につながります。

警告：
1.*お手入れの少なくとも 1 時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。*

2.*お手入れには湿らせた布のみを使用してください。プロジェクタ上の通気口に水が入らないようにしてください。*

3.*お手入れの際に少量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、使用する前に数時間通気のよい場所に電源を挿入せず放置してください。*

4.*お手入れの際に大量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、プロジェクタのメンテナンスを依頼してください。*

レンズのお手入れ

ほとんどのカメラ店で光学レンズクリーナーを購入することができます。次の手順に従い、プロジェクタレンズのお手入れを行なってください。

1. 少量の光学レンズクリーナーをきれいで柔らかい布につけます。（レンズに直接クリーナーをつけないでください。）
2. 円を描くようにレンズを軽く拭きます。

注意：
***1.** 研磨クリーナーやシンナーを使用しないでください。*

***2.** プロジェクタケースの変色や色落ちを防ぐため、クリーナーがケースに付着しないようにしてください。*

ケースのお手入れ

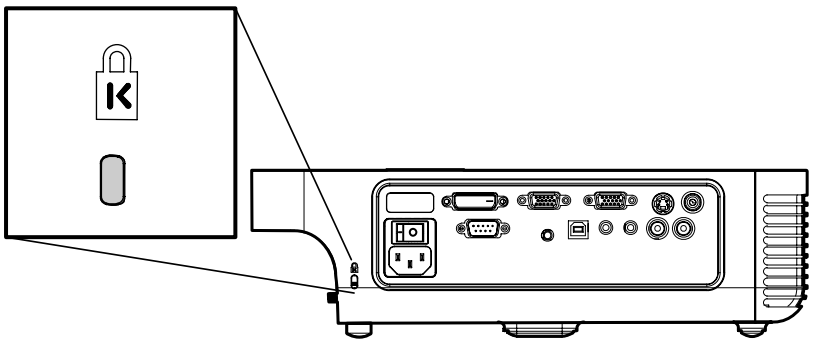
次の手順に従い、プロジェクタケースのお手入れを行なってください。

1. きれいな湿らせた布でほこりを拭取ります。
2. お湯と薄い洗剤（食器洗い用洗剤など）で布を湿らせ、でケースを拭きます。
3. 布の洗剤を洗い落とし、再度プロジェクタを拭きます。

注意：
ケースの変色や色落ちを防ぐため、研磨剤やアルコールベースのクリーナーを使用しないでください。

Kensington®ロックの使用

セキュリティーを万全にしたい場合は、Kensington スロットとセキュリティーケーブルでプロジェクタを固定された物品に固定してください。



メモ：
適切な Kensington セキュリティーケーブルの購入についてはお買い上げ店にお問い合わせください。

このセキュリティーロックはKensingtonのマイクロセーバー・セキュリティ・システムに対応しています。ご意見は：Kensington、2853 Campus Drive、San Mateo、CA94403、U.S.A.宛にご連絡ください。電話：800-535-4242、http://www.Kensington.com.

よくある問題と解決方法

これらのガイドラインはプロジェクタのご利用の際に直面する可能性がある問題に対処するヒントを示すものです。問題が解決されない場合は販売店にご連絡ください。

トラブルシューティングを行なうと、問題が接続のゆるみといった単純なことに起因することがよくあります。問題別の解決策に進む前に、次を確認してください。

別の電気デバイスを使い、コンセントが正常に動作しているかを確認します。

プロジェクタの電源が入っていることを確認します。

すべての接続にゆるみがないか確認します。

接続されたデバイスの電源が入っていることを確認します。

接続されている PC がサスペンドモードでないことを確認します。

接続されているノートブックコンピュータが外部ディスプレイ向けに設定されているか確認します。（これは通常ノートブックコンピュータ上の Fn キーの一定の組み合わせで行なわれます。）

トラブルシューティングのヒント

各問題別セクションでは、提示されている順に手順を試してみてください。より迅速な問題の解決につながることがあります。

不具合のない部品の交換を避けるため、問題をできるだけ特定してください。
例えば、電池を交換しても問題がある場合は、元の電池に戻してから次の手順に進みます。

トラブルシューティングで行なった手順を記録しておきます。この情報は技術サポートに連絡したり、修理担当者に渡す際に役立つ場合があります。

LED エラーメッセージ

エラーコードメッセージ	電源 LED/点滅回数	準備 LED/点滅回数
ランプ使用タスク生成エラー	2	1
環境使用タスク生成エラー	2	2
断熱状態エラー	3	0
T1 温度温度超過	3	1
T2 温度温度超過	3	2
T1 センサー状態失敗	4	1
T2 センサー状態失敗	4	2
バラストエラー状態- 温度超過	5	1
バラストエラー状態- ランプ電圧不足	5	2
バラストエラー状態- ランプ電圧超過	5	3
バラストエラー状態- ランプ点灯不能	5	4
バラストエラー状態- ランプ消灯	5	5
バラストエラー状態- ランプ点灯後に消灯	5	6
バラストエラー状態- EEPROM 書き込みエラー	5	7
バラストエラー状態- EEPROM バッファオーバーフロー	5	8
バラストエラー状態- UART バッファオーバーフロー	5	9
バラストエラー状態- 現在値ゼロ	5	10
バラストエラー状態- 設定エラー	5	11
バラストエラー状態- ランプ電圧不足	5	12
バラストエラー状態- 誤ったカーネルバージョン	5	13
ファン 1 エラー（ランプ）	6	1
ファン 2 エラー（バラスト）	6	2
ファン 3 エラー（バーナー）	6	3
ファン 4 エラー（電源）	6	4
ランプドアセンサー検出高	7	0
DMD エラー	8	0
カラーホイールエラー	9	0

画像の問題

問題：スクリーンに画像が表示されない

1. ノートブックまたはデスクトップPCの設定を確認します。
2. すべての装置の電源を切り、正しい順序で再度電源を入れ直します。

問題：画像がぼやける

1. プロジェクタ上の**フォーカス**を調整します。
2. リモートコントロールまたはプロジェクタ上の**自動**ボタンを押します。
3. プロジェクタ～スクリーンまでの距離が指定された10メートル（33フィート）の範囲内であることを確認します。
4. プロジェクタレンズがきれいか確認します。

問題：画像の上または下が広い（台形歪み）

1. プロジェクタをスクリーンに対してできるだけ垂直に配置します。
2. リモートコントロールまたはプロジェクタ上のキーストーン ボタンを使い、歪みを補正します。

問題：画像が反対または上下逆に映る

投影設定をOSDの**ユーティリティ**メニューで確認します。

問題：画像に縞模様が入る

1. **周波数**および**トラッキング**設定をOSDの**ユーティリティ**メニューで確認します。
2. 接続されたPCのビデオカードによってこの問題が引き起こされていないことを確認するため、別のコンピュータに接続してみてください。

問題：画像が平面的でコントラストがない

コントラスト設定をOSDの**メインメニュー**で調整します。

問題：投影された画像の色がソース画像の色と合わない

色温度および**ガンマ**設定をOSDの**メインメニュー**で調整します。

ランプの問題

問題：プロジェクタから光線がない

1. 電源ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。
2. 別の電気デバイスでテストを行い、電源ソースに問題がないか確認します。
3. 正しい順序でプロジェクタを再起動し、電源LEDが緑色であることを確認します。
4. 最近ランプを交換した場合、ランプの接続を再設定します。
5. ランプモジュールを交換します。
6. 古いランプをプロジェクタに戻し、プロジェクタの修理を依頼します。

問題：ランプが消える

1. 電源のサージがランプを消灯させる場合があります。電源ボタンを二回押してプロジェクタの電源を切ります。準備LEDが点灯するのを待って、電源ボタンを押します。
2. ランプモジュールを交換します。
3. 古いランプをプロジェクタに戻し、プロジェクタの修理を依頼します。

リモートコントロールの問題

問題：プロジェクタがリモートコントロールに反応しない

1. リモートコントロールをプロジェクタのリモートセンサーに向けます。
2. リモートコントロールとセンサー間に障害物がないことを確認します。
3. 室内の蛍光灯を消します。
4. 電池の極性を確認します。
5. 電池を交換します。
6. 付近にある赤外線デバイスの電源を切ります。
7. リモートコントロールを修理に送ります。

音声の問題

問題：音がしない

1. リモートコントロールのボリュームを調整します。
2. 音声ソースのボリュームを調整します。
3. オーディオケーブルの接続を確認します。
4. ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
5. プロジェクタの修理を依頼します。

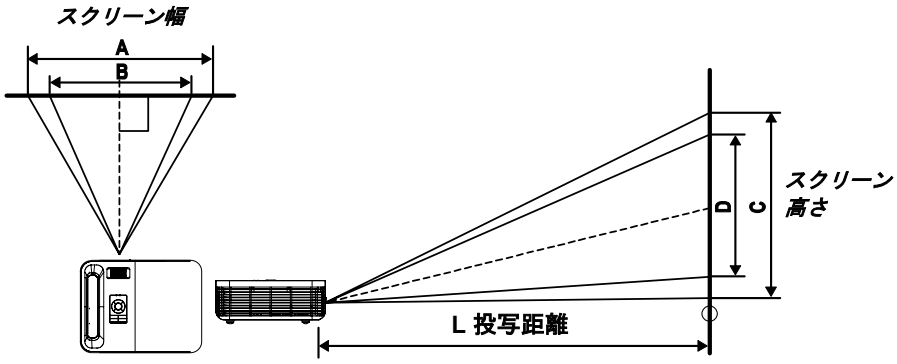
問題：サウンドがひずむ

1. オーディオケーブルの接続を確認します。
2. ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
3. プロジェクタの修理を依頼します。

プロジェクタの修理を依頼する

問題を解決できない場合、プロジェクタの修理を依頼してください。プロジェクタを元の箱に梱包します。問題の説明と、問題解決を試みたときに行なった手順のチェックリストを含めます。この情報は修理担当者にとって役立つ場合があります。お買い上げ店にプロジェクタを持ち込み、修理を依頼してください。

投写距離 対 投写サイズ



投写距離およびサイズ一覧表（0.7インチ）

	最大 スクリーンサイズ（ワイド）		1.8	最大 スクリーンサイズ（テレ）		2.1
投写距離 L	斜め	幅 A	高さ C	斜め	幅 B	高さ D
1.00 m	0.69 m	0.56 m	0.42 m	0.60 m	0.48 m	0.36 m
3.28 '	27.34 "	21.87 "	16.40 "	23.43 "	18.75 "	14.06 "
1.50 m	1.04 m	0.83 m	0.63 m	0.89 m	0.71 m	0.54 m
4.92 '	41.01 "	32.81 "	24.61 "	35.15 "	28.12 "	21.09 "
2.40 m	1.67 m	1.33 m	1.00 m	1.43 m	1.14 m	0.86 m
7.87 '	65.62 "	52.49 "	39.37 "	56.24 "	44.99 "	33.75 "
2.80 m	1.94 m	1.56 m	1.17 m	1.67 m	1.33 m	1.00 m
9.18 '	76.55 "	61.24 "	45.93 "	65.62 "	52.49 "	39.37 "
3.20 m	2.22 m	1.78 m	1.33 m	1.90 m	1.52 m	1.14 m
10.50 '	87.49 "	69.99 "	52.49 "	74.99 "	59.99 "	44.99 "
3.60 m	2.50 m	2.00 m	1.50 m	2.14 m	1.71 m	1.29 m
11.81 '	98.43 "	78.74 "	59.06 "	84.36 "	67.49 "	50.62 "
4.00 m	2.78 m	2.22 m	1.67 m	2.38 m	1.90 m	1.43 m
13.12 '	109.36 "	87.49 "	65.62 "	93.74 "	74.99 "	56.24 "
4.40 m	3.06 m	2.44 m	1.83 m	2.62 m	2.10 m	1.57 m
14.43 '	120.30 "	96.24 "	72.18 "	103.11 "	82.49 "	61.87 "
4.80 m	3.33 m	2.67 m	2.00 m	2.86 m	2.29 m	1.71 m
15.74 '	131.23 "	104.99 "	78.74 "	112.49 "	89.99 "	67.49 "
5.20 m	3.61 m	2.89 m	2.17 m	3.10 m	2.48 m	1.86 m
17.06 '	142.17 "	113.74 "	85.30 "	121.86 "	97.49 "	73.12 "
5.60 m	3.89 m	3.11 m	2.33 m	3.33 m	2.67 m	2.00 m
18.37 '	153.11 "	122.48 "	91.86 "	131.23 "	104.99 "	78.74 "
7.00 m	4.86 m	3.89 m	2.92 m	4.17 m	3.33 m	2.50 m
22.96 '	191.38 "	153.11 "	114.83 "	164.04 "	131.23 "	98.43 "
10.00 m	6.94 m	5.56 m	4.17 m	5.95 m	4.76 m	3.57 m
32.80 '	273.40 "	218.72 "	164.04 "	234.35 "	187.48 "	140.61 "

灰色の行は同寸法をフィートとインチで表示したものです。

タイミングモード 表

このプロジェクタはいくつかの解像度で表示できます。次の表にこのプロジェクタによる表示が可能な解像度を示します。

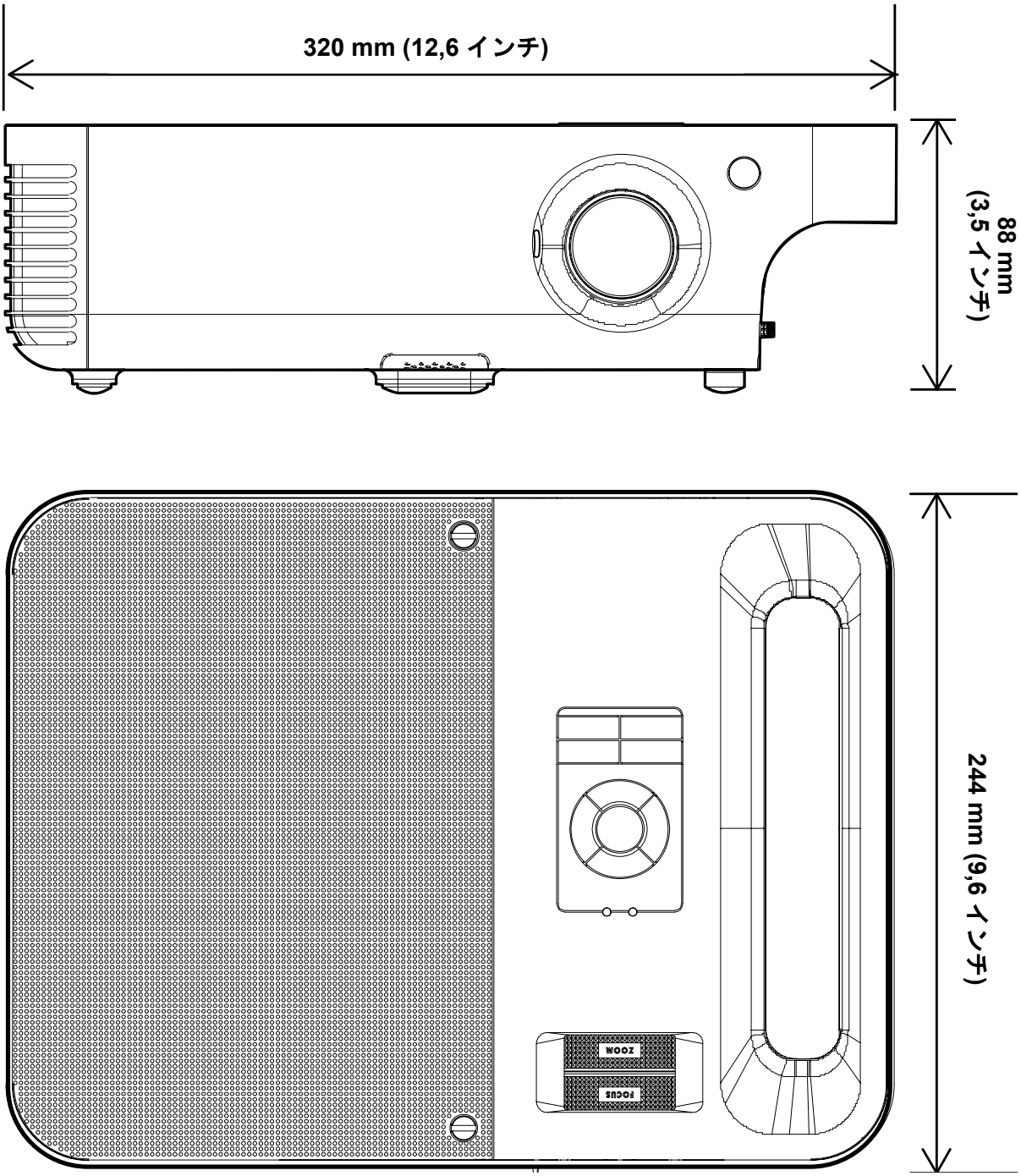
信号	解像度	水平走査周波数（KHz）	垂直走査周波数（Hz）	ビデオ	デジタル	アナログ
NTSC	-	15.734	60.0	O	-	-
PAL/SECAM	-	15.625	50.0	O	-	-
VESA	640x350	31.5	70		O	O
	640x350	37.9	85		O	O
	640x40	37.9	85		O	O
	640x480	31.5	60		O	O
	640x480	37.9	72		O	O
	640x480	37.5	75		O	O
	640x480	43.3	85		O	O
	800x600	35.2	56		O	O
	800x600	37.9	60		O	O
	800x600	48.1	72		O	O
	800x600	46.9	75		O	O
	800x600	53.7	85		O	O
	1024x768	48.4	60		O	O
	1024x768	56.5	70		O	O
	1024x768	60.0	75		O	O
	1024x768	68.7	85		O	O
	1440x900	55.6	60		O	O
	1280x1024	63.9	60		O	O
	1280x1024	79.9	75		-	O
	1400x1050	65.3	60		O	O
	1400x1050	64.7	60		O	O
アップルマッキントッシュ	640 x 480	34.9	66.6	-	O	O
	640 x 480	35.0	66.7	-	O	O
	832 x 624	49.7	74.5	-	O	O
	1024 x 768	60.2	74.9	-	O	O
	1152 x 870	68.7	75.1	-	O	O
SDTV	480i	15.8	30.0	-	-	-
	576i	15.6	25.0	-	-	-
	480p	31.5	60.0	-	-	-
HDTV	576p	31.3	50.0	-	-	-
	720p	45.0	60.0	-	-	-
	1080i	33.8	60	-	-	-
	1080i	28.1	50	-	-	-

O：サポートされている周波数　-：サポートされていない周波数

ネイティブの解像度はモデルにより異なります。ネイティブモード以外の解像度はテキストや線が不均一なサイズで表示されることがあります。

デジタルタイミングはディスプレイタイプが 0.7 インチのモデル向けです。

プロジェクタ寸法



FCC 勧告

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。住宅地区での本装置の操作は有害な電波干渉を引き起こす可能性があり、このような場合、ユーザが自費でその干渉を解決することが要求されます。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザは装置を操作する権利を喪失することがあります。

カナダ

本クラス B デジタル装置はカナダ ICES-003 に準拠しています。

EN 55022 勧告

これはクラス B の製品です。家庭環境では、電波干渉の原因となる可能性があります。その場合、適切な処置をとる必要があります。通常は会議場、会議室、講堂などで使用してください。

安全認証

FCC クラス B、UL、c-UL、CE、CB、TUV-CB、CCC、VCCI、TUV、MIC、GS、PSB、SASO、C-Tick、eK、PSE、GOST